

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	腎障害修復および腎発生に関わる分子の検証研究
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 腎臓内科 古市賢吾
研究期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2027年 3 月
対象者	1992年1月から～2022年7月までに、当院腎臓内科にて腎生検（移植腎生検も含む）あるいは剖検にて得られた腎組織を対象とします。国内外から、本研究のために提供のあった検体についても検討対象とします。
当該研究の意義・目的	今回の研究は、腎臓の修復の仕組みを明らかにすることです。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は、腎生検（移植腎生検も含む）あるいは剖検にて得られた腎組織を収集し、得られたデータからタンパクおよび遺伝子の発現を解析し、腎臓の修復の仕組みを検討します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。腎生検あるいは剖検により、上記期間中に得られた腎組織を本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 情報：病歴（原疾患とクレアチニン推移） 試料：腎組織 得られた研究データは、学内規程で定められた、研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。試料も同様に学内規程で定められた、研究発表後5年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。 この研究ではゲノム情報の解析はありません。
外部への資料・情報の提供	金沢医科大学から外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。 この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 腎臓内科科学 古市賢吾 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1

	☎：（代表）076-286-2211）内線（3401）
--	-----------------------------

作成日： 2025 年 1 月 25 日